

第4次余市町総合計画のスタートにあたって

余市町長 嶋 保

町の「総合計画」とは、まちづくりを進めるにあたっての長期的な方針を定めた、まちづくりの基本となる計画で、今回策定した「第4次余市町総合計画」は、平成24年度から平成33年度までの10年間を計画期間としています。

総合計画策定にあたり、私は「時代認識」として次の3点を掲げました。

- 地方分権の時代であること。すなわち、国や道の指示を待って仕事をする時代は終わったこと。
- 国・地方とも大変な財政難の時代であること。
- 余市町はもとより、国全体が人口減少と少子高齢化の時代にあること。

そしてこうした時代認識を踏まえた「新たな総合計画像」として、次の3点を掲げました。

- ◇ 地域住民としっかり連携し、まちづくり委員会等を立ちあげて協働して策定しなければならないこと。
- ◇ 地域にある資源や施設や人材を効率的・効果的に活用すること。
- ◇ しっかりとした目標と戦略を持ち、計画を絵にかいた餅にしないこと。

こうした時代認識や新たな総合計画像について、職員はもとより、「余市町まちづくり協議会」の皆様のご理解をいただきながら作業を進め、以下の3点を目標とする計画案を策定いたしました。

- 住み良く安心して暮らせるまちを創る
- 多様な資源と人的パワーを活かした元気なまちを創る
- 町民と行政が連携して歩むまちを創る

策定した計画案につきましては、「余市町総合計画審議会」への諮問、さらには余市町議会における審議を経て、平成24年2月24日に議決を頂きました。

この間、町議会議員各位、町民各位より多くのご意見、ご提言を頂きましたことに、心からお礼を申し上げます。

平成24年度からは、「第4次余市町総合計画」に基づくまちづくりがスタートします。豊かな自然に恵まれた余市町、そして先人達がたゆまない努力によって築き上げてきた余市町が、将来にわたって住み良く活気に満ちた町であり続けるためには、町民の皆様と行政とが手を携えてまちづくりを進めることが必要です。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。